

(臨床研究に関する公開情報)

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 臨床工学技士による SBT の評価支援の妥当性について

[当院研究責任者] 部署名 臨床工学部 氏名 小山昌利

[研究の概要]

【背景】 人工呼吸器から早期離脱の評価方法として自発呼吸試験 (SBT) が推奨されており、当院でも医師主導にて SBT を施行している。医師以外の多職種スタッフが参画し、基準に沿って離脱を進めれば人工呼吸器期間が短縮すると報告されており、多職種での介入は重要である。当院でも毎日の SBT を施行するにあたって、多職種での評価を並行して行うことでより早期からの人工呼吸器からの離脱も検討できるのではと考える。

【目的】 この研究は SBT 施行時に臨床工学技士と一緒に実施、医師との差異について検討し妥当性を調査します。臨床工学技士が人工呼吸器設定を確認、調整し、換気条件等について評価を行うことはより SBT の妥当性を高める可能性があるかと期待される。

[研究の方法]

- 対象となる患者さん：2017年1月から2018年4月までの期間、集中治療室にて人工呼吸管理を施行し、人工呼吸器離脱評価において医師・臨床工学技士双方が同時に SBT の評価を行った患者さん。
- 研究期間：倫理委員会承認後から2019年4月まで
- 利用するカルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、自発呼吸換気量・呼吸数、RSBI (Rapid shallow breathing index)、上気道狭窄評価のためのカフリーク。
- 検体や情報の管理：情報は当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

収集する情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

[問い合わせ先]

公立陶生病院

所属部署 臨床工学部 氏名 小山昌利

電話 0561-82-5101